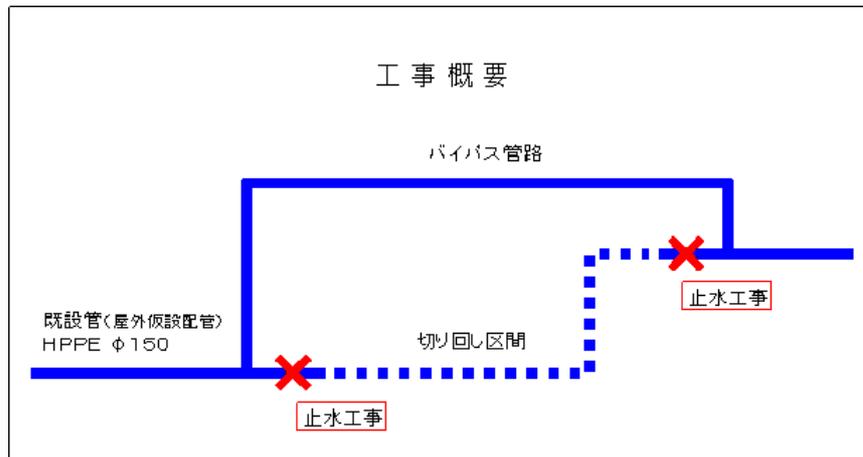


水道 News 現場レポート13 不断水移設工事

エアバック式止水工法を用いた配水用ポリエチレン管の移設工事 (切り回し)に立ち会いました

配水用ポリエチレン管 150Aの不断水移設(切り回し)工事に、
エアバック式止水工法 [株式会社 クロダイト 殿] を採用。

9:00より作業を開始、13:00に作業を完了しました。
(バイパス管路は、前日までに配管を終了しています)



作業状況



止水する配水用ポリエチレン管路(150A)に
鋳鉄製サドル付分水栓150A×50Aを取り付け、
穿孔しておきます。



サドルの横にエアバックにより管路が膨張
するのを防止するため、保持金具を取り付け
ます。



分水栓に水圧計を取り付け、水圧を確認。
水圧が、施工許容圧よりも高い場合は、
近傍の仕切弁、消火栓等を用いて調整します。



止水に使用するエアバックを準備。エア
バックはゴム製の内装バッグに布製の外装
バッグを重ね合わせた、2重構造です。



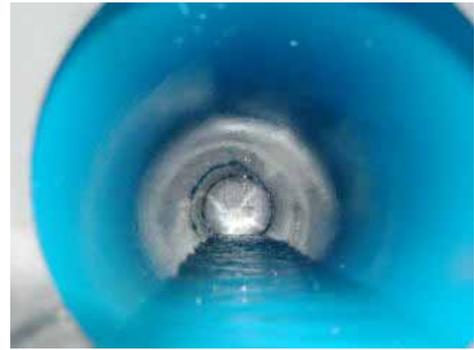
分水栓にエアバックを取り付けた挿入機を設置。上部より、人力で本管内にエアバックを挿入、管内で膨らませて、止水します。



切り回し区間に設置した分岐管の水の勢いが止水確認の目安。水の勢いが低くなれば、止水完了です。



エアバックによる止水を確認した後、切り回し区間の管を切断します。



切断後、管内を撮影しました。エアバックが膨らんで、止水していることがわかります。(本管の内水圧は、約0.5MPa)



管切断後、端部に栓帽を取り付けます。若干の越し水があるので、メカポリPPキャップ150A [大成機工(株)殿] を使用しました。



栓帽を取り付けた後、分水栓から、エアバック、挿入機を取り外し、作業完了です。

エスロハイパーも発売から、10年。配水用ポリエチレン管の普及に伴い、様々な技術が開発されています。